



JAC北九だより

No. 97 (令和4年 第1号)

公益社団法人 日本山岳会 北九州支部

Kitakvushu Section of The Japanese Alpine Club

発行：公益社団法人 日本山岳会北九州支部

支部長 日向 祥剛

事務局：福岡県糟屋郡篠栗町尾仲 50-17

榑 俊一方

TEL/FAX 自宅 092-947-3208

携帯 090-8416-4194

編集人：町元 里香

印刷：山口県山口市水の上町 2-25

内藤製本所



木版画 「暁光英彦山」 伊藤久次郎作

令和4年 新年のごあいさつ

北九州支部長 日向 祥剛

新年明けましておめでとうございます。旧年中は支部活動にご協力を賜り誠に有難うございました。本年も、なお一層のご支援を何卒宜しくお願い申し上げます。

今年の干支は壬寅(みずのえとら)です。厳しい冬を越えて、芽吹き始め、新しい成長の礎となるイメージだそうです。明るい希望ある年にしたいものです。

昨年も全世界がコロナに翻弄された一年でした。オリンピックも無観客での開催となり、延期された宮崎での全国支部懇談会は中止となり、全国山の日、大分県大会は大幅に縮小されました。私たち北九州支部の活動も海外遠征はもちろん、月例山行をはじめとした様々なイベントが中止となりました。第5回「榑有恒記念祭」は森元会長を迎えて規模を縮小して、どうにか行うことができましたが、支部報「第97号」は今回に延ばさざるを得ませんでした。コロナの勢いはデルタ株からオミクロン株へと移り弱まる気配はなく、本年もどのような年になるか未だ見通しがつきません。この状況の中で私達ができる事は、各自が感染を最大限に予防する手段を講じて、個人山行を基に、支部活動を粛々と進めましょう。日本山岳会の課題は120周年記念事業として山岳古道調査が決定されました。北九州支部は英彦山古道に決まりました。支部会員の総力を挙げて協力を、お願いします。すでに予備調査や試験山行調査も始めています。私も1月に京都の干支にちなんだ「良山・うしとらやま」2月に小笠原諸島に行きます。そして日本だけでなく、ヨーロッパ・アルプス、カナディアンロッキー、そして南極大陸を計画します。今年も1つでも高く、1つでも多く、1回でも多く山に登りましょう。少しでも、山に親しみ、山を愛し、山の知識を深めましょう。今年も会員皆様の意見を大切に、明るく、楽しい、前向きな支部運営に努めます。よろしくお願いします。

最後に会員皆様と北九州支部がますます輝かしい年となることを祈念して新年のご挨拶とさせていただきます。

第5回榎有恒記念祭

14523 榎 俊一

10月31日(日)秋晴れの日門司の風師山で榎有恒記念祭の式典を行いました。

当日午前8時、JR門司港駅に17人の参加者が集合し風師山の榎有恒記念碑の前に9時50分登頂し10時より式典の開始です。

事務局の式典開始の案内連絡後、北九州支部日向支部長の開催挨拶があり、続いて当支部の会友であり日本山岳会会長の森武昭さんに挨拶を頂いた。この中でこの榎有恒記念祭を将来にわたって継続していただきたいとのお話後長野県妙高戸隠付近の大望峠展望台に榎有恒の記念碑があり、この中の碑文が「山を尊び 山を愛し 山と共に生く」と書いてあるとの説明があった。(写真1)



写真1 長野県長野市鬼無里 6644-1 「大望峠 展望台」

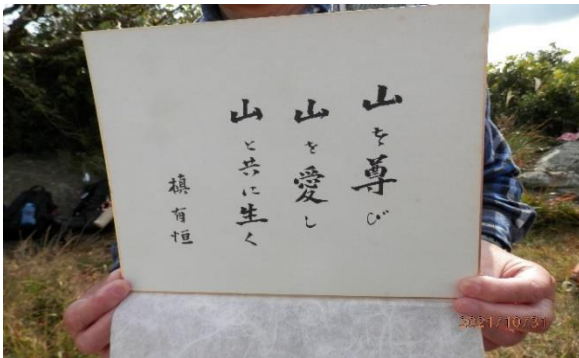


写真2 榎有恒 記念色紙 (写真 榎俊一)



榎有恒記念祭 (写真 榎俊一)

そして献花を榎有恒記念碑に捧げた。丹下副支部長より追加の説明があり榎有恒の略歴碑設置に貢献された柳原武志さんより榎有恒の記念色紙を今後は北九州支部で保管してほしいとの要望がありこの色紙の文書が今、森さんより紹介のあった「山を尊び 山を愛し 山と共に生く」でした(写真2)。偶然の話に全員こんなことがあるのだとびっくりし、感激しました。この色紙は北九州支部ルームに展示することにしました。

その後、伊藤久次郎元北九州支部長作の榎有恒記念碑が描かれている版画を、門司歩こう会会長の小田幸男さん(代理丹下副支部長)への贈呈式を行いました。記念撮影をし、10時30分散散となり全員門司港駅に各自下山し終了しました。



森元会長 喜寿のお祝い(写真 花田拓二)

参加者 18人 敬称略

森 武昭 日向祥剛 原 広美 板倉健一 井上禮子
馬場基介 関口興洋 丹下 洽 榎 俊一 丹下香代子
竹本正幸 竹本加代子 森本信子 三宅明子
花田拓二 横山秀司 岡野勝彦 小田幸男(途中参加)

シリーズ 福岡の山の Geo

山の地質・地形とその成り立ち

第4回

約1億年前の山

16382 横山 秀司

約1億3000万年前の日本列島は、現在の姿とは大きく異なっていた(図1)。東北日本と紀伊半島、四国南部、九州中部を含めた西南日本は、現在よりはるか南に位置していた。その西南日本はやがて北上し、約7000万年前までに大陸の縁にあった本州中部から北部九州までの陸地と合体した。福岡県の北部には、この時代の地

質からなる山がある。



写真1 宗像の新立山から見た皿倉山と権現山
2010.2.7 (写真 横山秀司)

尺岳などと同じ岩石からなる鞍手町の六ヶ岳(338 ㍎)は、鞍手富士と呼ばれるように、独立峰のような山体をしている(写真2)。六ヶ岳は福智山断層(断層を境に東側が隆起し、西側が沈降)より西側の沈降部に位置する。六ヶ岳の周囲は約4000万年前に海水が浸入し、浅瀬は汽水域となって植物が繁茂し、やがてその上に砂岩・泥岩などが堆積した。この当時、六ヶ岳は山体を維持していたので、あたかも島のように見えたであろう。後に、これらの植物は炭層となり、筑豊炭田のもととなった。

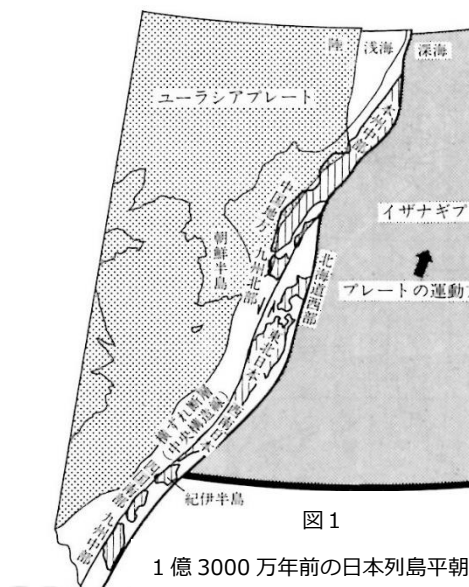


図1

1億3000万年前の日本列島平朝(1990)

『日本列島の誕生』

岩波新書(p.199)による

北九州市の皿倉山(622 ㍎)から尺岳(606 ㍎)・金剛山(562 ㍎)と続く山域は、中生代前期白亜紀(1.45~1億年前)に陸上で堆積した砂岩・泥岩からなる(写真1)。ただし、皿倉山と権現山(617 ㍎)の一部は1億年より少し前に噴出した安山岩の溶岩に被われ、途中の音滝山(416 ㍎)はマグマが上昇して地中で固結した安山岩が、その後の侵食により地表面に現れたものである。また、風師山(364 ㍎)もこの時代の砂岩・泥岩からできており、若松半島の石峰山(302 ㍎)は皿倉山と同じ火山岩からなる。



写真2 六ヶ岳 2021.12.11 (写真 横山秀司)



写真3 許斐山からみた宗像四つ塚連山
2004.2.23 (写真 横山秀司)
写真左から湯川山、孔大寺山、金山、城山

宗像地域の湯川山(471 ㍎)から城山(369 ㍎)にかけ「宗像四ツ塚連山」と呼ばれる山地も1億年少し前に安山岩類の溶岩の噴出によって形成されたものである(写真3)。同じ起源の山は、宗像市大島の御獄山(214 ㍎)、福津市の対馬見山(243 ㍎)や在自山(235 ㍎)、若宮市の笠置山(425 ㍎)などがある。



木版画「マンサク」 伊藤久次郎作

9月20日(月・祝日)

平尾台での森林保全巡視活動に参加して

～昨年の活動の結果はいかに???～

16186 三宅 明子



セイタカアワダチソウ駆除作業を終えて(写真 丹下香代子)

昨年度から開始した平尾台での森林巡視活動、今年は9月20日(月・祝日)に行うことになった。今回もセイタカアワダチソウを抜く作業。折しも緊急事態宣言下での実施となったが、昨年度よりも多い15人が参加してくださった。

7時20分に平尾台自然観察センターに集合。当初はセンターの外でレクチャーを行ってからの出発としていたが、センター内にてレクチャーしていただき、今回も自然観察センターの古川さんから、セイタカアワダチソウの植生や、上手な抜き方等を教えていただいた。今回、初めて参加されたメンバーも多く熱心に話を聞いていた。

30分ほどのレクチャーを終え、8時にいよいよ出発。乗合で茶ケ床園地まで行ったが、連休中ということもあり、車を停めるのに時間がかかってしまった。その後、8時半頃から前回セイタカアワダチソウの伐採を行った小穴周辺まで徒歩で移動。昨年も参加したメンバーは、昨年の成果が気になっていたようで、いろいろ話をしながら進んでいった。9時10分、小穴到着。前回作業をした場所は、見違えるほどきれいになっていて、みんなで歓声を上げて喜んだ。通常、セイタカアワダチソウの抜き方が悪いと倍になって群生するそうだが、私たちが作業した場所にはセイタカアワダチソウはポツリポツリしかなく、ここでの作業はあまりなかったもので、少し範囲を広げ、作業を行った。10時半過ぎに一旦作業を終え休憩後、岩山へ移動。11時に少し早めの昼食をとり移動し、11時40分頃に作業を再開した。岩山を下りた場所には、身長を超えるほどのセイタカアワダチソウが群生しており、抜くのも大変でみんな疲れた様子だったが、当初の予定時間の13時半まで作業を行った。その後、自然観察センターまで戻り、14時に安全確認とまとめを行い、14時半に解散した。

今回の活動を通し、少しではあるが平尾台の自然保護に貢献できたことは有難いし、有意義な1日となった。参加者からも、昨年の成果がこれだけ目に見えるとうれしいところがある、とか、また来年参加したいという声もあり、今後も活動を続けていければと思う。参加された皆さん、お疲れさまでした。



セイタカアワダチソウ駆除作業 (写真 丹下香代子)

追記 今回の活動は、9月25日付の毎日新聞に掲載されました。

参加者 15人：井上禮子 磯野文雄 丹下 洽 榊 俊一 丹下香代子 竹本正幸 竹本加代子 赤瀬榮吉
縄手 修 奥田スマ子 町元里香 中畑智子 三宅明子 横山秀司 宮本真希



1月27日(土)**第3回指導委員研修会に参加して****15416 歳弘 逸郎****<講習スケジュール>**

- ・研修内容の説明及び講師からの試験とその説明
- ・救助技術—クライミングボードでの訓練
- ・昼食
- ・救助技術—反復練習(デバイス使用)
- ・園川講師の講評
- ・今後のスケジュールの打合せ



レスキュー・吊上げ (写真 清家幸三)

第3回指導員研修が玄海青年の家で行われました。私は約3年間の空白期間があり使用する機器やロープワークなど、またこちらとの接続などうまくいくのだろうかと不安な気持ちで研修会に参加しました。

午前中はクライマーが落下してそれを肩がらみで止め安全に下まで降ろす研修でしたが、クライマーの重さで体が持ち上がり、頭の中で描いた通りに行きませんでした。それ以上落下を防ぐのがやっとでした。

午後からは3分の1倍力システムを利用してクライマーを吊りあげる研修をしました。

例えば体重60kgの人を20kgの力で吊り上げるのですが、実際にはカラビナとロープの摩擦抵抗で計算通りにはいきませんでした。吊り上げの難しさを感じました。

やはり常日頃より山に行くときはカラビナやロープを持ち、時間があれば実践してみることをして、これらと慣れることが大切と感じました。

講師 園川陽造顧問

参加者 7人：竹本加代子 赤瀬榮吉 縄手 修 歳弘逸郎 三浦利夫 町元里香 清家幸三

～～ 新入会員紹介 ～～**北九 534 岡野 勝彦(北九州市門司区)**

今年(令和3年)に定年退職し、20歳から暮らしていた東京から生まれ故郷の門司港にUターンしてきました。こちらでも山歩きをしたいと7月に早速入会しました。

東京では、山岳クラブに入会し、高山から低山まで歩いていました。冬は主に山スキーを行っていました。一番印象深かったのは、台風一過に登った北穂高です。山自身も綺麗でしたし、天気も雲一つない青空、そして夜は降るような満天の星、最高でした。時間を忘れて眺め続けました。

ここ数年は山野草に興味を持ち写真を撮っています。九州の山の花や木に詳しい方と山行できれば嬉しいです。なお、最近仕事に就いたので、土日祭日しか参加できません。運転免許がないため、なかなか上手く山行に参加出来ませんが、今後ともよろしくお願いします。



八甲田山 (写真 岡野勝彦)

12月5日(日) 月例山行

久しぶりの山行「忘年登山」に参加して

北九 479 網塚 陽子

コースタイム；足立公園（赤松林駐車場）8：45～森のプロムナード（標柱分岐）
 9：10/9：15～小文字山（366㍎）9：40/9：45～
 妙見山10：50/10：55～足立山（昼食）11：20/11：50～
 砲台山分岐12：25～妙見神社13：30/13：40～
 赤松林駐車場13：55



足立山山頂（写真 竹本加代子）

忘年登山は足立山、周回コースでした。足立公園赤松林駐車場に8時30分集合。ラジオ体操をして出発。久しぶりの山行でとても緊張しましたが、いざ山の中に入ると深呼吸をして気分が落ち着きました。周りの方と楽しくおしゃべりをしながら最初のピークの小文字山に到着。山頂からの眺めは天候に恵まれ、小倉・門司方面が一望できました。

次に向かったのが妙見山と足立山。小倉北区にあり、生活に近い山のイメージをもっていたので、山道は整備されていると思いましたが、細い道や岩場、そして鎖場もあり、意外と野趣あふれる山なんだなと思いました。足立山の山頂で昼食。山頂は森の中という感じでした。下山は砲台山分岐から妙見神社コース。

枯葉踏みしめ砲台跡などを見て歴史を感じながら歩いて無事妙見神社に着きました。休憩を含めて約5時間。コロナ禍で日々緊張が続いていますが、身も心もリフレッシュできた楽しい時間を過ごすことができました。リーダーの竹本さんをはじめ、皆様ありがとうございました。

参加者 11人 会 員：日向祥剛 榊 俊一 竹本加代子（CL）赤瀬榮吉 森本信子
 縄手 修（SL） 歳弘逸郎 町元里香 清家幸三
 支部友：網塚陽子 宮本真希

～～ 新入会員紹介 ～～

北九 532 大山 時彦（嘉麻市）

登山との出会いは約15年前、52歳の時に平尾台で朝日新聞社主催で初心者講座があり、まったくの初心者で用具を一式揃え、参加したのが始まりでした。講座が終了し、その仲間たち10名で月1回程近隣の英彦山や、九重、阿蘇など、約5年間程登りましたが残念ながら解散しました。

その後、筑豊の登山の会に数年在籍し退会后、今年は登山愛好家のグループで8月槍ヶ岳表銀座縦走コース、9月燕岳～常念岳～上高地と初めて北アルプスを経験しました。北九州支部に入会した理由は、経験だけは15年ほどですが、本来の登山知識を正しく学んでないのではと以前から自分の中で問題視していました。ロープワークやハーネスを使った雪山登山などの正式な教育を受けたいとの思いで入会を希望しました。そして学んだ正しい知識を基に若い孫達にも登山の魅力を伝え、楽しめたらと思っています。山は近隣の低山里山でも日本アルプスでも、登ると明日からまた頑張ろうと背中を押してくれるような気がします。



（写真 大山時彦）

10月21日(木) ポレポレ山行

日本三大カルスト 秋吉台ハイク

15616 奥田 スマ子



ヒメヒゴタイ (写真 原広美)



冠山山頂 (写真 原広美)

コロナ自粛でポレポレ山行には久しぶりの参加となりました。秋芳洞には何度か行く機会があったけれども秋吉台地は初めて。今日は楽しみにしてのハイキングです。

福岡県苅田町から里耕三郎さんの車で集合場所の山口県秋芳洞バスターミナル(観光案内所)へ向かいました。9時30分にみんなと合流後、登山口のカルスト展望台駐車場へ移動して9時45分ここからスタートしました。秋吉台にはすでに大勢の子供たちが来ていました。「何処から?」と聞くと「広島から」と言う。修学旅行中の小学6年生でした。そういえば、駐車場に大型

観光バスが4台駐車していました。子供たちもコロナ自粛は大変だったことでしょう。こうしてみんなと旅行にこられてどの子も表情は明るく笑顔に溢れていました。私たちも子供たちの笑顔に元気を貰いました。

若竹山(253㍎)から剣山へ。山といっても小高い草原の丘といった緩いコースです。よく整備されていて歩きやすい。気温も高くなく気持ちのよい風が吹いていました。ムラサキセンブリ、アキノキリンソウ、ヒメヒゴタイ、リンドウ等々、秋の花がたくさん咲いていました。花々を愛でながら展望が良いと聞いていた冠山(377㍎)へは11時半に到着。冠山からは広大なカルスト台地が一望できました。ドリーネ(石灰岩が雨で浸食されてできた穴)が点在していて雄大な眺めです。今歩いてきた道も見えます。遠くに目をやると

「あれは菜の花畑?」と錯覚するほどの景色も。しかしこの「菜の花畑」の正体は厄介者のセイタカアワダチソウの群落でした。セイタカアワダチソウは環境省が生態系被害防止外来種リストに挙げています。それが繁茂しているというのは、ここ秋吉台でも高齢化による労力不足は否めないのかもしれませんが。後日、「セイタカアワダチソウは昆虫が蜜を吸う為にわざと刈り取らずに残している、と聞いたことがあるよ」との情報を得て、本当のところはどうか? 気になって秋吉台観光協会に問い合わせしてみました。観光協会によるとセイタカアワダチソウの群落は昆虫の為にではなく、繁茂した後自滅して枯れるのではないかという推測のもとで実験しているとのことでした。セイタカアワダチソウの群落の中には見えないけれどもキキョウなどの在来種もたくさん生育しているとのこと。在来植物にとっては厳しい環境下で競合し生き延びていくには大変なことでしょう。実験結果が待たれるところです。

冠山で腰を下ろして昼食休憩後は地獄台(409㍎)へ。こうして何処までも緩やかな道を歩いていると人は変化を求めたくなるのでしょうか。誰かが「こんなところでカミナリが鳴ったらどうする?」と聞いています。また地獄台へ向かうときには地獄というネーミングのイメージから「山頂の向こうは絶壁になっているのかしら?」とまた誰かが期待を込めて聞いています。しかし、カミナリも鳴らず、地獄台のその先は何処までも穏やかな草原の台地が続いていました。

北山(367㍎)を通過、行者ヶ森休憩所でトイレタイムの後には行者ヶ森を経て午後3時半にスタート地点へ戻ってきました。今日の歩数は22000歩を超えてよく歩きました。そして秋吉台の大自然を満喫しました。みなさま、本当にお疲れ様でした。ご案内して下さった縄田正芳さん、原 広美さんに感謝いたします。有難うございました。

コースタイム: 秋吉台バスターミナル(観光案内所) 9:30~展望台駐車場 9:45~若竹山 10:00
~剣山 10:40~冠山(昼食) 11:30/12:00~地獄谷 12:40~北山~長者ヶ森 14:00
~展望台駐車場 15:30(解散) 15:45

参加者 11人 縄田正芳(CL) 原 広美(SL) 井上禮子 関口興洋 丹下 洽 丹下香代子 奥田スマ子
中畑智子 里 耕三郎 田中眞一 田中陽子

11月18日(木) ポレポレ山行

長門トレイル 雨乞山～妙見山

14554 丹下 香代子

コースタイム：人丸駅（集合）9：00～妙見公園（2台車を置く）～後畑集落（登山口）9：30～
雨乞山 10：25/10：40～高頭山（ティータイム）11：25/11：40～
妙見山（昼食）12：30/13：10～元乃隅神社（参拝）～登山口 14：20（解散）



妙見山 (写真 原広美)

コロナ禍で山行中止が続き、やっと10月、11月のポレポレ山行を行うことが出来ました。今回は「長門トレイル」ちょっと楽しみ！！里さんの愛車に乗せて頂き出発進行・・・人丸駅集合、今回の参加者7人が集合したところでCL 縄田さんより説明を受け4台の車で出発。2台の車を下山路の妙見公園駐車場に置き、登山口へ2台の車で移動。いよいよ楽しみトレイルの説明を聞き、さあ出発です。

林の中を進むと石祠があり雨乞山着。この山は集落に雨が少なく水がないので雨乞いをしていたそうです。何だか広場で人の声、テレビ局の方達で、ドローンを上げ収録中でした。聞くと「ながもん」と言う番組で「萩市ケーブルテレビ」で12月に放送されるようです。思いがけない楽しい一時でした。

三角点を探し先に進む。同じような林を過ぎ竹林を過ぎると大きな石や岩がゴロゴロと「みのが峠」を過ぎると高頭山着。ティータイムです。軽食を取り出発。これより難所ありとか！！急坂を下ると、滑り易い斜面をトラバース。これは本当に難路です。木の根元をしっかりと持って少しずつ進むが足場がなく、足に力が入らなく大変でしたが無事通過。もうひと登りで妙見山着。予定通りです。山頂は公園になっていて昼食。集合写真を撮った後、置いていた車2台で移動する。

元乃隅神社で参拝をし、岩場で見られる龍宮の汐吹きは見られなかったが美しい風景を堪能し移動、登山口に戻り解散です。縄田さん、原さんありがとうございました。皆さんお疲れさまでした。

追記 この山塊は英彦山・豊前坊につながりがあったようで九州英彦山信仰の広さには驚きでした。

参加者 7人

会 員：縄田正芳（CL）原 広美（SL）

井上禮子 丹下 洽 丹下香代子 太郎良嘉親

支部友：里 耕三郎



雨乞山 萩市ケーブルテレビの皆さんと(写真 原広美)

～～ 新入会員紹介 ～～

北九 529 平野 喜義（北九州市戸畑区）

1976年生まれ

登山歴は4年程です。主に単独で登っております。たまに妻と小学生の子供3人でも登ってます。今年の冬は伯耆大山のパリエーションルートに行く予定です。年に一回はアルプスの山々を縦走したいと考えております。まだまだ未熟ですがよろしくお願いします。写真は槍ヶ岳山頂からです。



(写真 平野喜義)

個人山行 2021年10月23日(土)~24日(日)

一等三角点めぐり

13643 関口 興洋
16291 花田 拓二



大比叡山頂 (写真 花田拓二)

一等三角点研究会の新世紀創立十五周年の記念行事が10月京都で開催され、北九州支部から6人の会員が参加したので報告します。

(1) 記念講演会

10月23日(土)、南禅寺順正で仏教大学教授八木 透先生の「愛宕信仰と火まつり」の講演を拝聴。

(注) 愛宕山は京都盆地の西にあり市中の最高峰(924 ㍎)である。東の比叡山(848 ㍎)と対をなしている。愛宕山は全国に800社余りある愛宕神社総本山であり火伏せの神として日本の広い地域の人々に崇拝されている。「火廻要慎」

(ひのようじん)のお礼が有名である。また明智光秀が本能寺の変を起こす前に、ここで連歌の会を催したことで知られている。

その後、順正の宴会場で記念祝賀会が開催され、日本山岳会の第19代会長(1997, 5~1999, 5)を勤められた斉藤淳生名誉会員(一等三角点研究会の顧問)から祝辞を頂いた。斉藤さんは現在92歳のご高齢ですが、まだ現役のドクターとして京都でご活躍中です。

(2) 記念山行

10月24日(日)目的地は一等三角点の比叡山(埋設地は滋賀県、山名:大比叡、848.1 ㍎)。コースはA班(徒歩組)とB班(車組)の二班に分かれて行動し、山頂で合流。

A班:メンバー 原 広美 井上禮子 花田拓二
B班:メンバー 伊藤久次郎 高畠拓生 関興洋
<A班の報告>

宿舎(南禅会館)を会員の車に分乗し8:00出発。8:20修学院前で下車、登山口に向かう。音羽川をさかのぼり、突き当りの8:35雲

母橋(きらら橋)を左折、雲母坂は急登である。8:37比叡山登山口に着く。えぐられたような山道を歩く。かつて比叡山の僧兵が神輿を担いで朝廷に強訴した道といわれる。やがて、明るい樹林帯になり、9:25水飲対陣之跡石碑に着く。ここからは京都一周トレイルコースと重なる。高度を上げると10:17杉の倒木が抜がるところを迂回し、10:32ケーブル比叡駅(標高690 ㍎)に到着。広場で京都市街地を眺めながら休憩する。駅舎を過ぎてスキー場跡を通過、つつしヶ丘に着く。ここは大原の里など展望がよい。ここから山手の道を取り、頂上駐車場に向かう。こんもりした森の小山をめざす。11:25大比叡(標高848.1 ㍎)の一等三角点に到達する。ここでB班と合流し、昼食弁当を食べる。

(花田拓二記)

<B班の報告>

宿舎(南禅会館)を9:30に出発。北白川から東山を抜け比叡山ドライブウエーに入る。途中、休憩スポットに立ち寄り眼下の琵琶湖の展望を楽しんだ。前回、比良山脈の比良ヶ岳(山名:蓬萊山、標高1173.94 ㍎)の一等三角点を探訪した時はガスに覆われ琵琶湖の景観を楽しむことができなかったが、今回は近江大橋、琵琶湖大橋などの位置も明瞭に識別できた。高所から俯瞰すると琵琶湖がいかに大きいかよく理解できた。11時山頂直下の駐車場に到着。弁当の配給を受け頂上へ向かう。10分で一等三角点に到達し三角点にタッチ。すぐ後にA班が到着し記念写真に納まる。周囲は樹林におおわれ眺望は全くきかない。ここで昼食をとった後、北九州支部会員は全員そろってケーブル延暦寺駅に下山することにし、近道の案内を日本山岳会京都・滋賀支部の松下支部長にお願いし下山開始。この道は延暦寺への参拝道であるが、路傍に延暦寺ゆかりの高僧のお墓や仏塔が建立されており歴史を感じる古道である。かなり急な歩きにくい道を用意しながら下るが背広姿の高畠さんの足取りが軽快なのに驚きながら30分強で駅前広場に到着し一息入れる。ここからも琵琶湖がよく見える。松下さんのパーティとお別れし、ケーブルで延暦寺の門前町である坂本に向かう。坂本より京阪電車で石山へ行き、石山寺の境内に入ったが閉門時間が迫り残念ながら参詣は断念し京都駅に戻った。

(関口興洋記)

△ 個人山行 南アルプス山行 2021年7月23日~27日 △

3000 ㍔の稜線を行くアリ5匹と
青春の思い出たどるアリ1匹

白根三山での一言

15806 清家 幸三

初日、2800 ㍔の北岳の肩の小屋付近でライチョウの親子に遭遇した。その時の喜びは格別でもやの中をその親鳥の子どもを見守る姿には心が弾んだ。

二日目は北岳、間ノ岳の花散策コースを辿り、農鳥小屋に泊った。ここの名物主は飾り気がまったくなくて話をする。周りの空気を観ながら、「明日は天気が続くだろう。」次の朝、出発前に「長い道のりだからしっかり歩きな!」うるさく言うが最後に、「ごめんな!」山への姿勢はこれだと思った。三日目はこの言葉を反復しながら、農鳥岳経由で下山した。山歩きの基本を叩き込まれたと思った。

三日間、天気恵まれ、特に農鳥岳からの眺めは富士山も含めて南アルプスを代表する山々を拝見?させてもらった。涙も出た。山の大きさに圧倒されいつのまにか小さい生き物…蟻のように小さくなって歩いていた。そして高山の可憐な花々に癒された。

私にとっては今回の経験がこれからの登山に生かされる一歩になったと思った。リーダーをはじめ参加者の皆様に感謝です。

南アルプス山行でのひと言

15416 歳弘 逸郎

19歳の6月のはじめ、夜叉神峠より白根三山を眺めた時、次はこの山に登ると決めました

変わらぬ山、変わった自分

14852 竹本 正幸

南アルプス北岳は、22歳の時にザイルパートナーとバットレス4尾根から中央稜を登り頂上に突き上げた。あれから50年、どのようになっているかと期待しながら登った。しかし過去の記憶はなく、全く初めての山に登っているようである。大きく変わっていたのは、自分の体力の衰えであった。歳を重ねるごとに進んでいくなか、白根三山の縦走ができてよかった。感謝、感謝。



間ノ岳 (写真 竹本加代子)



ライチョウ (写真 清家幸三)



農鳥おやじと (写真 竹本加代子)

タカネマンデマ

あふれる夏のかかやきのなかで

14853 竹本 加代子

濃いみどりの木々からのこもれ陽、小鳥のさえすり、沢音に導かれ広河原から大樺沢に行く。この時とばかりにきらめくお目当ての花々。サア、我々も心ウキウキ! きらめこう! 大きく息を吸って吐いてコロナ禍の閉塞感から解放されて、この大自然を肌で感じようと。青春の思い出の山へ今再び訪れた。

トレーニング不足が招いた大樺沢二股から急にきた筋肉の疲労感にはショックを受けた。しかし、この山行で流した汗の分、たどり着いて肩の小屋から見上げた山頂やライチョウの親子、なかなか顔を見せてくれない甲斐駒ヶ岳、北岳山頂で見たタカネマンデマ、そして農鳥岳へと続く3000㍔の稜線、農鳥おやじもいい思い出となりました。きらめく夏空の中皆さんとご一緒出来て感謝です。

初めての南アルプス汗か涙か分からず

感動しまくりのアリ1匹

15710 町元 里香

大自然の中では本当に小さな存在の自分自身を痛感した。しかしその大自然の懷で感動ばかりの幸せも噛み締めた。朝焼けの中で雲海に浮かぶ富士山。厳しい環境の中で可憐に咲く花々。3000 ㍔の稜線から眺めたちょっと怖そうな甲斐駒ヶ岳、やはり女王に間違いない仙丈ヶ岳。思い出すたびもう一度会いたくなる農鳥小屋のおやじさん。そして何よりも一緒に歩いた仲間たち。すべてに感謝です。

白根三山縦走

16163 中畑 智子

11年前に塩見岳~間ノ岳~北岳を縦走したのですが、今回は素晴らしい晴天の中ライチョウの親子や高山の花々に囲まれながら初めて農鳥岳に登ることができました。リーダー、参加者の皆さん本当にありがとうございました。

コースタイム：7月23日(金)＜移動日＞北九州～奈良田15:00～広河原山荘16:30
24日(土) 広河原山荘5:00～大樺沢二股7:40/7:55～北岳肩の小屋11:15
25日(日) 北岳肩の小屋5:52～北岳6:45/7:05～間ノ岳11:15/11:38
～農鳥小屋13:00
26日(月) 農鳥小屋4:10～西農鳥岳5:46～農鳥岳6:38/6:48
～大門沢分岐7:30/7:48～大門沢小屋10:29/11:00～早川第一発電所
14:45～＜バス移動＞奈良田温泉(入浴)15:56/16:30～静岡(宿泊)
27日(火) 静岡(宿)3:15～北九州15:45

△ 個人山行 10月14日(木)～16日(土) △

甲武信ヶ岳 山頂からの絶景を求めて

15616 奥田 スマ子

日本百名山のうち43座が見えるといわれる甲武信ヶ岳。山頂からの展望を期待して、天気予報は事前に入念チェック。晴天を確認してから自宅を出発しました。

長野県信濃川上駅から、計画では登山口の毛木平へはバスで梓山まで行き、そこから徒歩1時間かけて毛木平へ行く予定でしたが急遽変更して楽々タクシーで登山口へ向かいました。登山口から山頂までは溪谷と原生林を見ながら歩く比較的緩い道です。白樺やシラビソの木々、カエデの紅葉が目には優しい。思わず♪森は生きている～風だ～って雲だって小川のせせらぎだって生きて～いる～♪、記憶のなかにあるメロディーが出てきそうな、そんな光景でした。今夜は山頂直下にある小屋泊りなので急ぐ必要はない。山と一体感を味わいながら千曲川・信濃川源流地や景色の良い所でゆっくり休憩を取りながら山頂を目指しました。

山頂からは青空の中、近くには富士山、ハケ岳、雲取山、両神山、遠くアルプスの峰々の大パノラマが広がっていました。「キレットが見える」と言う人もいて飽きることのない景色でした。

翌日は小屋を出て木賊山に登り、そこから西沢溪谷まで標高差1400㍎程の急斜面の下り。のんびり歩いている途中で出会った若者が「10時過ぎのバスに間に合うかもしれない」と言って早々に下りて行きました。私たちがひとつ早いバスに乗れるかもしれない、と計画変更。急いで若者を追いかけてました。そして「徳ちゃん新道」でその若者の背中が見えた時の爽快感。挑戦することの気持ち良さ。やがてその若者を追い越してバスの発車時刻30分前に無事到着しました。

今回の甲武信ヶ岳登山は奥秩父の自然からたくさんの元気をもらった楽しい登山になりました。

参加者 奥田スマ子 他友人1人



甲武信ヶ岳山頂(写真 奥田スマ子)

コースタイム

10月14日 移動日 北九州空港→羽田空港→電車で山梨県北杜市清里へ(午後観光・前泊)
10月15日 清里駅6:38→信濃川上駅6:55(タクシー)→毛木平7:30～ナメ滝
～千曲川・信濃川水源地標11:15→甲武信ヶ岳12:35(休憩85分)
14:00→甲武信小屋14:20(宿泊)
10月16日 甲武信小屋6:10→木賊山→合流点→徳ちゃん新道→西沢溪谷入口バス停
9:40着バス10:12発→山梨駅→電車→羽田空港から帰路へ

個人山行 9月30日～10月2日

楽しい東北山旅 日本百名山に登る

16163

中畑智子

東北の日本百名山である吾妻山(2030 ㍎) 磐梯山(1819 ㍎) 安達太良山(1700 ㍎)、の三座に登りました。

9月30日、吾妻山登山(7時間20分) 福島旅館やまとを6時45分に出発。レンタカーで天元台ロープエー駐車場に到着し、そこから登山を開始しました。山頂では素晴らしい景色、紅葉を見ることが出来ました。

清水の小屋～磐梯山山頂をピストン。その日は台風のため朝から雨が降っていたのですが、登山時間が短いので登れるところまで行き、風が強い場合は直ぐに中止することを話し合い出発しましたが、雨は小降りでも風もほとんどなかったので無事山頂に立ち写真を撮ることが出来ました。



吾妻山の湿原(写真 中畑智子)



吾妻山山頂(写真 中畑智子)

10月2日安達太良山登山(5時間) 奥岳登山口

4時40分出発、早朝より雨も止み安達太良山へ出発しました。途中で小雨が降り出したのですが直ぐに青空になり最高の登山日和になりました。天気予報によると10月1日は台風が来る予報だったのでどうなることかと心配していたのですが無事楽しく登ることが出来ました。東北の山旅に誘って頂き有難うございました。

参加者 中畑智子 他友人2人

個人山行 10月3日～5日

南アルプス(甲斐駒ヶ岳・仙丈ヶ岳)

思い出の黒戸尾根

14853 竹本 加代子

(写真 竹本加代子)



コースタイム

10月3日(日) 尾白川溪谷駐車場 5:55～<竹宇駒ヶ岳神社>～笹ノ平 9:00～<刃渡り>～刀利天狗(昼食) 10:45/11:15～5合目屏風岩小屋跡 12:15～七丈小屋 13:25

4日(月) 七丈小屋 4:30～ご来迎場 5:30/5:50～9合目2本の剣 6:47～甲斐駒ヶ岳 7:35/8:00～摩利支天 8:50/9:00～駒津峰 10:05/10:25～北沢峠 12:30

5日(火) 北沢峠 5:00～小仙丈ヶ岳 8:00/8:25～仙丈ヶ岳 9:30/10:05～仙丈小屋(昼食) 10:15/10:25～馬の背ヒュッテ 11:30/11:40～北沢峠 13:55

今年は〇〇尾根という登山に縁がある年となった。春のGWには丹沢のバカ尾根といわれる大倉尾根に登った。秋には念願の黒戸尾根の計画が持ち上がった。計画は町元さん担当で同じ登るならピストンではなく黒戸尾根から甲斐駒ヶ岳に登り北沢峠へ下り仙丈ヶ岳に登ることを立案。まず悩んだのが①レンタカーを茅野市から伊那市側への回送であった。北アルプスのようにはいきません。②南アルプス林道のバス運行が全面開通とはなっておらず歌宿までであった。(歌宿まで歩く予定ではあったが、北沢峠まで繋がり歩かずにすんだ。)③ロッジ山旅から登山口までのアクセスなどひとつひとつクリアされた。回送については、さすがに行動力のある彼女である。タクシー会社と交渉の上前例のない回送へとこぎ付けた。そんな中、私は意識的にトレーニングに励んだ。メンバーに、迷惑はかけられない!足を引っ張ってはならない! 相手は黒戸尾根である。体力づくりにひたすら頑張る。

最終トレーニングは参加者全員が久住山17サミット9座中7座の日帰り登山。どうやら体力的に合格したようだ。こうなると心はもう黒戸尾根に二つの夢を抱く。



2本の剣(写真 竹本加代子)

①七丈小屋の花谷さんに会いたい。②黒戸尾根シンボルの2本の剣をこの目で。(北沢峠からの登山では見られない)

登山初日、ロジック山旅(宿)より俳優の古田新太似のオーナーの車で尾白川溪谷駐車場へ。山岳信仰によって開山された黒戸尾根は甲斐駒ヶ岳の表参道であり、日本三大急登の1つでもある。

準備運動をして、竹宇駒ヶ岳神社で手を合わせ吊り橋を渡る。いよいよスタートである。登山道は思いの外歩きやすく、これから8時間の登りと構えていた気持ちが肩からスーッと抜けた。核心部はまだまだ先ではあったがトレランの方達に道を譲りながら高度を稼ぐ。刃渡りと呼ばれる難所もあったがさほど気にもならず、5合目に至る。屏風岩小屋跡は修験者の修行の場であったよ

うで、いたる所に古い祠や剣に石像が奉納されている。その右側には2019年の台風で崩壊した爪跡が残っていた。新しい梯子が付け替えられ、いよいよこれからが核心部である。長く連なる梯子や鎖の連続である。数えきれないほどの梯子も七丈小屋手前の高度感たっぷりの垂直のハシゴで終わった。ひたすら登った7時間20分。

もちろん白州のハイボールで乾杯。マスクで気付かなかったが花谷さんは確かにおられた。花谷さんはピオレドール賞を受賞された方で翌日のガイドの準備をされていた。自ら給仕もされ、少しお話も出来た。笑顔の素敵な花谷さんでした。

登山二日目4時30分出発、8合目のご来迎場でご来光を迎え9合目当たりで大岩の上の2本の剣を見ることが出来た。何度もシャッターを押す。それから間もなく白い花崗岩の甲斐駒ヶ岳の山頂に立った。摩利支天にも立ち北沢峠へ下る。

登山3日目仙丈ヶ岳登山も7月の山行、白根三山の山々を目の前にして喜びも倍増であった。身も心も自然の中に開放されたいくな3日間の山旅が終わる。

参加者 5人 竹本正幸 竹本加代子 縄手 修 町元里香 清家幸三

△ 個人山行 △

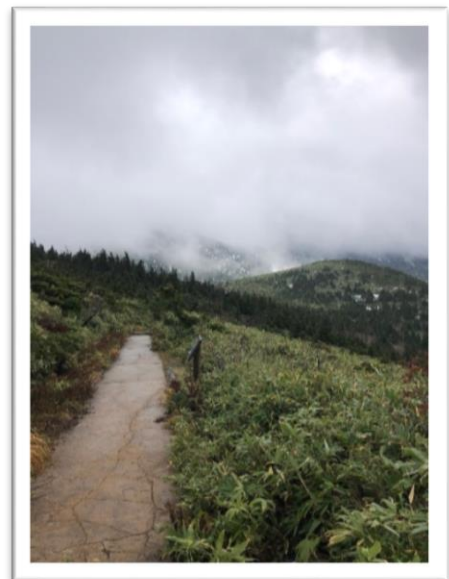
「カミさんと行く旅」

13533 磯野 文雄

カミさんが、定年退職となった。たまたまコロナが落ち着いた、数々県外への外出規制もなくなっていた。「東北地方には行ったことがない。」とのことで、早速、旅行を計画することになった。お断りしておくが、登山ではないので、登山計画書は、提出しなかった。

一方で、案内するならば「紅葉と温泉」とテーマと決め、山形県の蔵王(エコライン)、岩手県の八幡平(アスピーテライン)、青森県の八甲田(ゴードライン)、と決め、6泊7日の予定を組んだ。10月末であるので、少しの積雪は想定しなければならない。とすると、若干の、例えばチェーンスパイク程度は準備せねばならず、防水された靴や防風を兼ねたレインウェアをザックに入れたが、観光の範囲なので、その点お許し願いたい。

仙台空港に着いた。あらかじめレンタカーを予約し、タイヤをスタッドレスに交換するよう依頼しておいた。予約はコンパクトカーであったが、大きなワンボックスカーを与えられた。レンタカー事務所で、エコラインの状況を尋ねると「通行できますよ」とのことであった。これまでは北側の仙台から高速道路にて、蔵王に入っていたが、紅葉の美しい南側のエコラインに行くこととした。



(写真 磯野文雄)

仙台空港から遠刈田温泉まで来たところで、尋ねるとエコーラインは、先週の雪が残っていて通行止めとなっている、ことがわかった。このため大きく迂回して、蔵王温泉に着いたのは、午後遅くなってである。このため、ロープウェイに乗って「ここが樹氷で有名な樹氷高原駅で、シーズンともなればモンスターと呼ばれる樹氷を見ることができる。」などと茶をにごして、地蔵岳にも登らず温泉に入ることになった。

翌日は雨天で、仙台から平泉町を経由して安比高原への移動日となった。ホテル安比グランドには、30分ごとに「白樺の湯」という温泉に向けて無料のバスがある。

三日目も、小雨模様の雨天であるが、安比高原から八幡平へ向かう。霧が深くて30分先が見えない。アスピーテラインを、慎重に運転していると、突然、視界が開けて雲の上に出た。すると、道の両側に一面の紅葉と黄葉が現れ、かつ、展望ができた。遠くに岩手山が見える。アスピーテラインの紅葉を楽しみつつ八幡平への期待が膨らんだ。しかし、高度を上げるにつれて、残雪が見え始め、徐々に霧が深くなり、雨が降り出した。登山口の駐車場に到着したときは、雨天と濃霧で、トレッキングどころではなくなっていた。話し合ってトレッキングを中止して、弘前へ行くことにした。目的は、アップルパイである。その夜、青森では大雨であった。四日目の朝、薄曇りで小雨がパラついていて。相談の結果、ダメもとで八甲田に行くことにした。晴れ間が見えたり、小雨が降ったりの微妙な天気の中、八甲田までの紅葉は、美しかった。ロープウェイの駅に着いて尋ねると、展望は期待できない、とのことであった。迷ったが、切符を買って行けるところまで、と決めてロープウェイに乗った。山頂公園駅に着くと、霧と強風に煽られて、早々にトレッキングを断念した。写真は、登ることができなかった大岳(八甲田の主峰)方面の写真である。この後、二日間をかけて、海鮮を堪能しつつ、太平洋側を南下して仙台空港に帰着した。

個人山行のお誘い 「雪遊びの大山」

スノーシューでスノーハイク

- 1 期日 令和4年2月11日(祝)～14日(月)
- 2 行程 福岡～中国自動車道～大山(往復)
※登山計画書は別途協議して作成
- 3 経費 25000円程度(交通費・宿泊費)
※ゲストハウスに泊まります。食費は別途
- 4 その他・寂静山や豪円山にハイキングします。
・最低催行人数3名とします。
・スノーシューはレンタルできます。
- 5 申込み
磯野まで(090-4989-5961)
締切り 1月27日(木)

桜の花の寿命を予測しよう

桜の花の中心の色に注目しましょう。白や黄色ならまだ元気な証拠です。赤く色が変わってきていけば、寿命がきてしまっていて次の風でハラハラと桜吹雪が舞い始めます。



木版画「シクラメン」

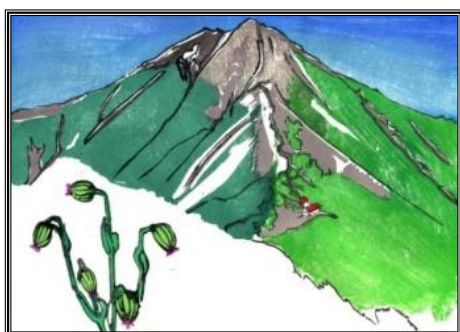
伊藤久次郎作

★★ 英彦山で訓練登山を実施します ★★

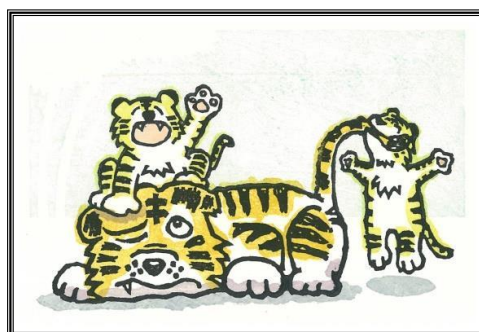
～対象は入会間もない方や登山経験が浅い方～

- | | |
|----------|-------------------|
| リーダー | 塚本久嘉 |
| サブリーダー | 縄手修 三浦利夫 |
| 集合場所 | 英彦山別所駐車場 8時30分 |
| コース | 英彦山バリエーションコース |
| | (明細はホームページに掲載します) |
| 実施日 | 2月23日(祝) |
| 申込み及び問合せ | 塚本久嘉 |
| | TEL090-7475-6084 |
| 定員 | 5名 |
| 締切り | 実施日の2週間前 |

版画同好会メンバー 北九州支部のルーム



北岳とタカネマンテマ 竹本 正幸



あ・うん 平賀 裕之



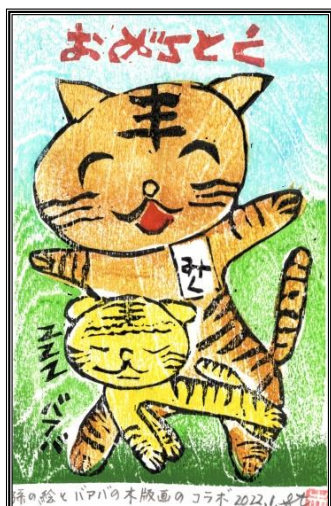
タイガー 田中 慎一



寅 丹下 香代子



あざみ 網塚 陽子



孫の絵とのコラボ 立石 しま子



初 春 馬場 基介



虎視眈々 伊藤 久次郎

「グレート・ヒマラヤ・トラバース」もコロナで足踏み！

重廣恒夫さんのメールで判明

昨年春からNHKテレビの「グレート・ヒマラヤ・トラバース」を毎回楽しみに見ていました。ところが、コロナが全世界に蔓延し、その後は足踏み状態とのことです。このことを知らせてくれたのは、JAC前副会長の重廣恒夫さんです。では、どうして重廣さんからメールがきたのか、というと、北九州支部創立10周年記念式典(2010年)に重廣さんが関西支部長として参加され、その時に私伊藤Qがビデオで撮っていたものを、これもコロナ禍の余暇を利用してDVDに再編集。参加された重廣さんにも記念としてお贈りしたものです。また、丁度私が版画集を出版したので、ついでにそれも一緒にお送りしました。そして、そのお礼の返事として、メールが送られてきました。その中に「グレート・ヒマラヤ・トラバース」のことが書いてあり、このことを皆さんに伝えるため北九州支部報に掲載の承諾を重廣さんからいただき、今回の原稿になった次第です。重廣様、メール大変有難うございました。では、この後は、メール本文を掲載します。

2021年9月11日 重廣氏からのメール(第1便)

伊藤様 この度は木版画集とDVDをお送りいただき有難うございました。木版画の一つ一つに深い感銘を受けました。小生の撮る山の写真と違って、手間がかかるがゆえに喜びも大きく、思い出が詰まっているように思いました。また、DVDは懐かしく拝見させていただきました。懐かしい人たちの顔も昨日の事のように思い出しました。話す機会は多くても、映像に残っているものは少なく、改めて御礼を申し上げます。

私事ですが、昨年春から始めたグレート・ヒマラヤ・トラバース(山岳第116年に概要掲載)もその後はコロナのお陰で足踏みです。ネパールでは昨年を観光年と定め200万人の海外からの観光客を当て込んでいましたが、我々が入国した直後に登山・トレッキングのパーミッションがすべて取り消しとなり外国人観光客数は前年比81%減の23万人(1986年のレベル)に留まり、エベレストだけで400億円前後の減収となり大打撃を受けました。それもあって、今春は感染状況の急悪化にも係わらず、エベレストなどの8000m峰70隊前後564人に他の7000m峰に200人前後に許可を出しましたが、エベレストは408人が挑み150人ほどが登頂したようです。ただBCでの感染者も多発したようです。

日本人も3人が公募隊に参加しましたが、登頂は一人のみ、残る2人はBCで感染し、ドーハ経由のカタル航空で何とか帰国しました。

国内の感染状況は落ち着きを見せていますが、まだまだ予断を許さない状況が続きます。ご自愛ください。(重廣)

2021年9月12日 (第2便)

ご連絡をいただいた件(支部報掲載の承諾)は、特に問題ありませんのでお使い下さい。コロナ禍の詳細については、既に届いたか、もうすぐ届く『山岳』(この後届きました)に詳細が載っています。また、日本山岳会のホームページのYou Tubeで『great Himalaya Traverse』『日本山岳会創立120周年記念事業グレート・ヒマラヤ・トラバース 東ネパール登山隊2020』の映像を見ることができます。よろしくお願いします。(重廣)

北九州支部の皆さん、既に届いている『山岳』2021年Vol. 116を是非読んでください。

(伊藤Q)

春の天気はふる・ふく・どん

春になると天気が周期的に変化するようになります。雨がやんだかと思うと風が強まる。その強い風が収まり穏やかに晴れたあとは、雨雲が接近してきます。春はこのように雨が降る、風が吹く、曇天を数日で繰り返す特徴があります。

山行・行事のお知らせ

— 1月 —

● 福智山 900.6 ㍓

期 日 1月16日(日)
集 合 竜王峡キャンプ場駐車場
午前8時30分集合
行 程 竜王峡キャンプ場～豊前越～福智山往復
コースタイム 約6時間
申込み 赤瀬榮吉
TEL090-7475-9748 (SMS)
締切り 12月26日(日)

● 第4回指導員研修会

期 日 令和4年1月22日(土)～23(日)
場 所 広島県の山(詳細は別途連絡まで)
内 容 テント泊、ラッセル、ピッケル、
アイゼン等の訓練
装 備 冬山登山装備
連絡先 清家幸三 TEL090-8664-4411
④2月予定を冬山訓練のため、1か月前倒し致しました。(1月山岳専科と2月指導員研修を入れ替)

— 2月 —

● 第3回山岳専科(令和3年度)

担 当 三浦利夫
テーマ 雪山訓練
期 日 2月20日(日)
場 所
時 間 積雪の状況により選定予定
参加者には選定後、別途ご案内します
携行品 冬山登山装備一式、昼食
(アイゼン、ピッケル他)
申込み 三浦利夫 TEL090-2850-6020
締切り 1月30日(日)

● 森林保全巡視活動「龍王山616㍓」と三高山周辺の観梅会

期 日 2月26日(土)～27日(日)

1 森林保全巡視活動「龍王山」

集 合 26日(土)9時30分
八木山花木園駐車場
*登山口までは相乗りで移動します。
行 程 元青年の家登山口～龍王神社～龍王山
～八木山畜産センター～八木山花木園駐車場
(所要時間約4時間)

④森林保全巡視活動のみの参加者は、ここで解散します。

備 考

1 森林保全巡視員以外の方も参加できます。

2 観梅会参加者は、三高山山小屋(嘉麻市)へ移動します。

3 入浴施設のご案内

さつきの湯 0948-20-5003

伊川の郷 0948-22-3007

2 三高山周辺の観梅会

集 合 26日(土) 16時30分

三高山山小屋

1 食事、嗜好品は、コロナの感染防止を踏まえ個人で購入することを基本とします。

2 山小屋泊は極力避け、テント泊もしくは車中泊とします。

(山小屋泊希望の方は、参加受付時調整とします)

27日(日)朝食後、嘉麻市梅林公園へ

散策後、解散。

申込み 三宅明子 TEL090-1510-1311

メール akkorose.27@gmail.com

締切り 1月31日(月)

共通事項

①一般登山装備

(防寒対策をお願いします)

②マスク、消毒液等は各自準備をお願いします。

③山小屋宿泊も含め、コロナの状況により変更の場合もあります。

④参加者は最終日程表を確認の上、集合をお願いします。

備 考 上記、月例行事に昨年中止した森林保全巡視活動を組み入れしました。

● くじゅう「大船山」

氷結の御池2月20日は中止します。

— 3月 —

● 英彦山山開き(護摩焚き)

期 日 3月6日(日)

場 所 英彦山中岳山頂広場

集 合 中岳山頂に昼食を済ませ

11時30分に集合

(別所駐車場集合の方は8時30分集合)

申込み 別所駐車場集合の方はホームページより申し込んで下さい

(<http://jac-kitakyushu.jp/>)

山頂集合の方は申し込み不要ですが各自で登山届提出の事

提出先 メール anzentozan@jac-kitakyushu.jp

問合せ 塚本久嘉 TEL090-7475-6084

装 備 一般登山装備(防寒着必修)

● 嘉麻アルプス縦走

～春色の縦走路を満喫しましょう～

期 日 3月13日(日)

集 合 古処山キャンプ村遊人の杜駐車場

午前7時30分

行 程 古処山キャンプ村～古処山(860㍓)～
屏山(927㍓)～江川岳(861㍓)～
馬見山(978㍓)～馬見山キャンプ村
(歩行距離 9㍓。コースタイム 8時間)

申込み 町元里香 Tel090-9572-6939

メール yunae.runa@icloud.com

締切り 2月27日(日)

● 第4回山岳専科(令和3年度)

担 当 三浦利夫

テーマ ツエルトを張ってみよう!(遭難対策)

期 日 3月20日(日)

時 間 午前8時00分集合

会 場 調整中 ※屋外実地講習を予定

参加者には選定後、別途ご案内します

携行品 一般登山装備一式・ツエルト筆記具・昼食

申込み 三浦利夫(Tel090-2850-6020)

締切り 2月27日(日)

ー 4月 ー

● 大平山(315㍓)

花見登山&麒麟ビール(試飲)バスハイク

リーダー 赤瀬栄吉

期 日 4月3日(日)

集 合 7時15分 KMMビル前

*古賀SA、博多駅前からも乗車できます。

7:30分小倉駅北口出発～8:00古賀SA

8:40博多駅筑紫口～9:30分甘木公園～

9:40～11:40登山～11:50～

13:30下山後花見～麒麟ビール工場見

(試飲)～博多駅～古賀SA～

16:30小倉駅(解散)

行 程 甘木公園～持丸分岐～大平山往復

所要時間約2時間

*花見スポットは甘木公園の池周辺

大平山登山途中の展望台

参加費 4,500円程度

(工場入場料500円含)

定 員 20名(参加人数により変動します)

申込み 赤瀬栄吉

Tel090-7475-9748(SMS希望)

締切り 3月3日(木)

その他 弁当、嗜好品は各自ご用意してください
途中コンビニに立寄ります。

※麒麟ビール工場見学休止の場合は、大平山から
安見ヶ城山まで往復します。



◆◆ ポレポレ会山行 ◆◆

*防府天満宮で初詣及び天神山へ (167㍓)

期 日 令和4年1月13日(木)

リーダー 縄田 正芳

集 合 防府天満宮駐車場 10時

(目標・競輪場近く)

電車利用

JR防府駅みなとぐち(海側)9:45

小倉発7:48 → 防府着9:39

行 程 駐車場10:00→天神山10:30

(休息昼食40分)→防府天満宮11:30

→山頭火ふるさと館11:50(見学)→

周防国分寺12:30→東大寺別院阿弥陀寺

13:00 解散14:30

申込み 丹下 洽 Tel090-3732-8843

締切り 令和3年12月31日

*萩 笠山及びヤブツバキ原生林ハイク

期 日 2月24日(木)

リーダー 縄田 正芳

集 合 萩 明神池駐車場付近 9時30分

行 程 明神池(9:30)→ヤブツバキ原生林経

由笠山(12:00昼食30分)→ヤブツバ

キ原生林駐車場(13:00)→反射炉→東

光寺(13:40散策) 解散14:30

申込み 丹下 洽 Tel090-3732-8843

締切り 2月10日(木)

*陶ヶ岳(230㍓)火の山(304㍓) 小磨崖仏の道

期 日 3月17日(木)

リーダー 原 広美

集 合 松永邸北陶ヶ岳駐車場 9時30分

行 程 松永邸北駐車場(9:30)

→陶ヶ岳(10:00)→火の山(往復)

→陶ヶ岳下広場(12:00昼食30分)

→小磨崖仏周回→駐車場(14:00)

申込み 丹下 洽 Tel090-3732-8843

締切り 3月3日(木)

◆◆ 英彦山山頂トイレ清掃 ◆◆

北九州支部の皆様、ご協力お願いします。

当支部の掃除当番は、下記の通りです。

日にち 2月9日(水)3月23日(水)

*4月以降は 未定

集 合 別所駐車場 9時00分集合

参加できる方は、1週間前に申込みください。

申込み 奥田スマ子 Tel080-8589-0903

～～～～～～～～～～

会務報告

令和3年11月定例役員会

事務局

1 日 時：令和3年11月10日(水) 18時より

2 場 所：北九州支部ルーム

3 出席者：丹下、竹本、榊、三宅、町元、塚本
馬場、関口
欠席者：日向、縄田

4 議 題

(1) 会員の異動状況 (事務局長報告)

①新入会員：・通常会員・準会員・支部友 なし

②退会者：・通常会員 大谷城(逝去)

・準会員：・支部友：なし

・通常会員：58人 ・準会員：2人

・支部友：36人 ・会友：4人 合計100人

(2021. 10. 31現在)

(2) 会費納付状況 未納者

(財務委員長より報告)

・通常会員：3/58・準会員：1/2

・支部友：5/36・会友：1/4

(2021. 10. 31現在)

(3) 山行・行事報告

・9月4日(土) 三郡縦走 中止

・9月12日(日) 岩登り陶ヶ岳(個人山行)
9名

・9月19日(日) 第2回山岳専科 中止

・9月20日(月) 森林保全一斉巡視活動
平尾台15人

・9月25日(土) 支部合同会議(東京)
オンライン会議3人

・10月6日(水) 英彦山トイレ清掃4人

・10月22日(金) 家裁登山サポート 中止

・10月24日(日) 英彦山バリエーション
コース(訓練登山) 中止

・10月23日(土)～24(日)

広島支部交流 中止

・10月23日(土)～26(火)

特別山行海外 中止

・10月31日(日) 榎有恒記念祭 18人

・11月3日(水) ウェストン祭(宮崎) 中止

(4) 山行・行事計画

・11月14日(日)→10月31日(日)

涌蓋山 中止

- ・11月17日(水) 英彦山トイレ清掃
- ・11月27日(土) 第3回指導員研修
- ・12月4日(土) 年次晩餐会(東京) 中止
- ・12月5日(日) 忘年登山足立山
- ・12月12日(日) 忘年の集い 中止
- ・12月19日(日)

英彦山バリエーションコース(訓練登山)

- ・12月29日(水) 英彦山トイレ清掃

・1月16日(日) 福智山

・1月22日(土)～23(日)

第4回指導員研修

(5) ポレポレ会山行

- ・9月16日(木) 長登銅山山行 中止

・10月21日(木) 秋吉台山行

・11月18日(木) 長門トレイル山行

・1月13日(木) 防府天満宮山行

5 審議事項

(1) ルームの備品在庫調査を行い備品台帳作成
するための第一回調査を行う。

ルームの会館内でコロナウイルス感染発生のため
日程調整する。

(2) 全国山岳古道調査の場所。

英彦山秋の入峰道(峰入道)

皿倉山―権現山―尺岳―福智山―焼立山―金満
山―茶臼山―竜ヶ鼻―障子ヶ岳―飯岳山―戸城
山―葛城山―岩尺山―弓張岳―英彦山

4班に分割し調査予定。

6 審議事項検討

(1) ルームの備品在庫調査は来年1月末ごろ日程
調整し備品台帳作成のための調査を行う。

(2) 古道調査の調査方法資料作成要領等統一のため
1月末頃4班集合してルームで打ち合わせ会
議を行う。

(3) 榎有恒記念祭の日程は日曜日に行うことにし
たい。来年度の山行計画書作成時に検討する。

(4) 英彦山頂上神社復旧寄付金については北九州
支部として総会時にオークション等や各人の
寄付金を集め英彦山神宮への寄付金の一部とし
たい。

(5) 小倉サロンと博多サロンの復活を来年1月
り行う。

(6) 北九州支部ルームの毎日会館が11月21
と22日停電となる。

(7) 北九州支部ルームの大掃除を12月27日
10時より行います。参加の程よろしくお願
いいたします。

※次回役員会 1月12日(水) 18:00～



◆◆ 英彦山上宮社殿修復整備工事のおしらせ ◆◆

事務局長 14523 榊 俊一

北九州支部会員の皆様へ

英彦山上宮の社殿修復工事が令和4年7月より令和8年7月まで行われます。「英彦山上宮社殿修復整備工事に関する協議会」より連絡がありました。

工事に伴い、社殿・中岳休憩所周囲の平地が、全て資材置き場となり中岳休憩所(バイオトイレ)を含む場所が工事関係者以外進入禁止になります。

また、資材搬入用モノレールが、英彦山野営場から北西尾根ルートに沿い中岳休憩所まで設置され安全確保のため、北西尾根ルート・バードラインも進入禁止になります。

中岳上部が閉鎖されるため、北岳から南岳までの往来が出来なくなります。

中岳・北岳・南岳それぞれの登山ルートで、工事現場への進入禁止ゲートを設置する予定です。

ゲート設置場所案

- 南岳 山頂
- 北岳 ブナ林
- 中岳

A案 むすび神社 登山の雰囲気は味わえる。神社周囲が開けているので、参道以外から侵入される可能性がある。

B案 中津宮 尾根なので、幅が狭く封鎖しやすい。

C案 奉幣殿 根元にゲートがあると、はなから中岳には登れないと諦めがつく。

- バードライン 全路通行止め

- ボッカ道 全路通行止め 決定時には次回会報にて連絡する予定です。

小倉サロンのおさそい

日時 1月20日(木) 18時~20時
場所 ルーム
内容 久しぶりの再会で四方山話
これからの進め方の話し合い
会費 1,000円程度
(飲み代は別で各々の支払い)
申込み 清家幸三 Tel 090-8664-4411
又はSNSにて1週間前までご連絡
ください。

博多サロンのおさそい

日時 2月10日(木) 18時30分から
場所 博多 魚一番筑紫口本店
Tel 050-5283-6170
会費 4,500円(飲み放題付)
申込み 三宅明子 Tel 090-1510-1311
締切り 2月6日(日)

※今回から赤瀬さんに代わり三宅が担当することになりました。よろしくお願いします。